

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

| | |
|------|--|
| 対象部局 | 経営戦略研究科・会計専門職専攻 |
| 大項目 | 9 管理運営等 |
| 中項目 | |
| 小項目 | 9.0.1 管理運営の独立性 |
| 要素 | ①会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい独立の運営の仕組みを有していること。 ②会計大学院の教育課程、教育方法、成績評価、修了認定、入学者選抜に関する重要事項については、会計大学院の教育に関する重要事項を審議する会議における審議が尊重されていること。 ③教員の人事に関する重要事項については、会計大学院の教員の人事に関する会議における審議が尊重されていること。 ④会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい十分な財政的基礎を有していること。 |
| 小項目 | 9.0.2 自己点検及び評価 |
| 要素 | ①会計大学院の教育水準の維持向上を図り、当該会計大学院の目的及び社会的使命を達成するため、当該会計大学院における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表していること。 ②自己点検及び評価を行うに当たっては、その趣旨に則し適切な項目を設定するとともに、適当な実施体制が整えられていること。 ③自己点検及び評価の結果を当該会計大学院の教育活動等の改善に活用するために、適当な体制が整えられていること。 ④自己点検及び評価の結果について、当該会計大学院を置く大学の職員以外の者による検証を行うよう努めていること。 |
| 小項目 | 9.0.3 情報の公表 |
| 要素 | ①会計大学院における教育活動等の状況について、印刷物の刊行及びWEBサイトへの掲載等、広く社会に周知を図ることができる方法によって、積極的に情報が提供されていること。 ②会計大学院の教育活動等に関する重要事項を記載した文書を、毎年度、公表していること。 |
| 小項目 | 9.0.4 情報の保管 |
| 要素 | 評価の基礎となる情報について、適宜、調査及び収集を行い、適切な方法で保管されていること。 |

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗状況(達成度)評価 | | | | |
|-----------------------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|
| | | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 財政的基礎を確保するために、入学定員充足率1.0を維持する。 | →定員充足率 | C | B | C | C | C |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 目標1 | C | Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 定員充足のため、入試説明会を頻繁に開催した。週末に大阪梅田キャンパスでの開催を中心に、平日に西宮上ヶ原キャンパスでの学内説明会も開催した。また、早稲田大学アカウンティングスクールと合同で説明会を大阪・東京で開催した。さらに2015年度からは入学定員を70名に変更した。 | ☆ |
| | | Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 上記の取組みにも関わらず、会計専門職に関連する環境の変化によって定員充足率1.0は達成できていない。入学定員を変更したため、定員充足率の向上が期待されるが、引き続き積極的な広報活動が必要である。 | ☆ |
| | | Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 入試説明会の回数を増やすとともに、志願者層を掘り起こすため、会計に関する無料の連続セミナーを開催する。開催時期は入試の時期を考慮し、3回を1セットとする。 | ☆ |
| | | その他 | ☆ |
| 備考 | | | ☆ |